

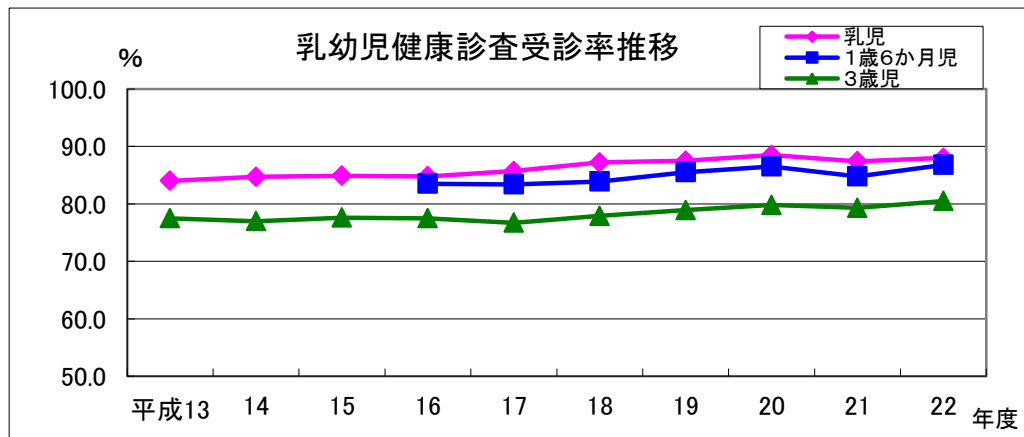
平成22年度乳幼児健康診査から

この報告書は、平成22年4月1日から平成23年3月31日までに実施された県内41市町村の乳児、1歳6か月児、3歳児の健康診査結果を乳幼児の健康と育児環境等について、市町村別に集計し「平成22年度乳幼児健康診査報告書」としてまとめたものである。

平成22年度は5年おきに改訂される受診票が使用されたことで、かかりつけ医や親子健康手帳等の新たな視点からも集計がなされている。

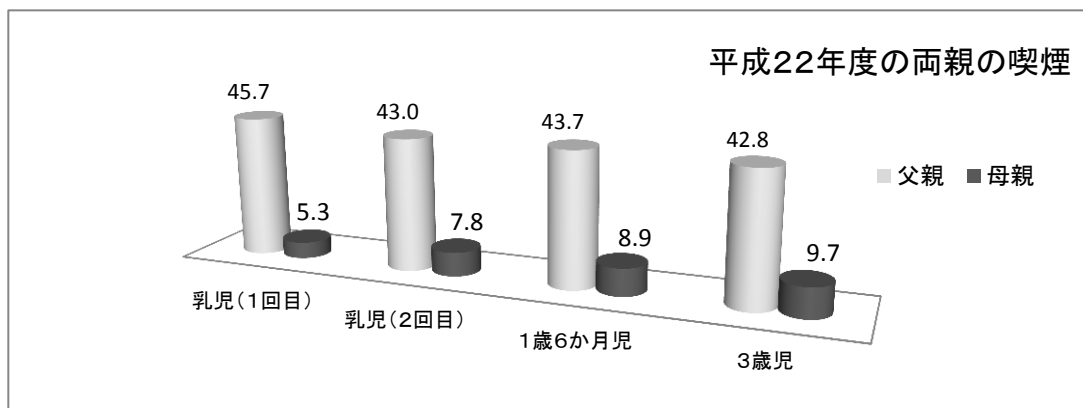
(1) 一般健康診査の受診状況について

全市町村とも健康診査の対象者数は、健診連絡者数としている。それを基に平成22年度の各々の受診率を算出すると、乳児は88.0%、1歳6か月児は86.8%、3歳児は80.5%となっている。平成21年度には受診率に減少がみられたが、22年度は僅かに増加となっている。



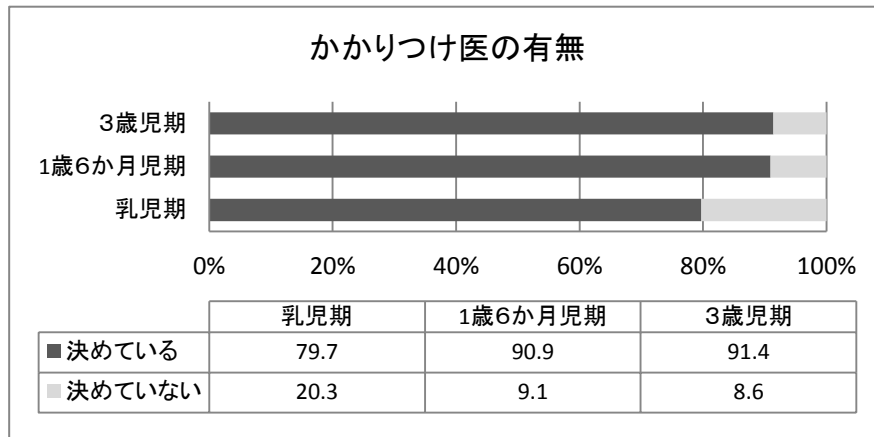
(2) 乳幼児健康診査時の両親の喫煙

乳幼児健康診査時の両親の喫煙率をみると、父親の喫煙は乳児1回目受診時に比較し3歳児の受診時は減少しているが、母親については増加している。



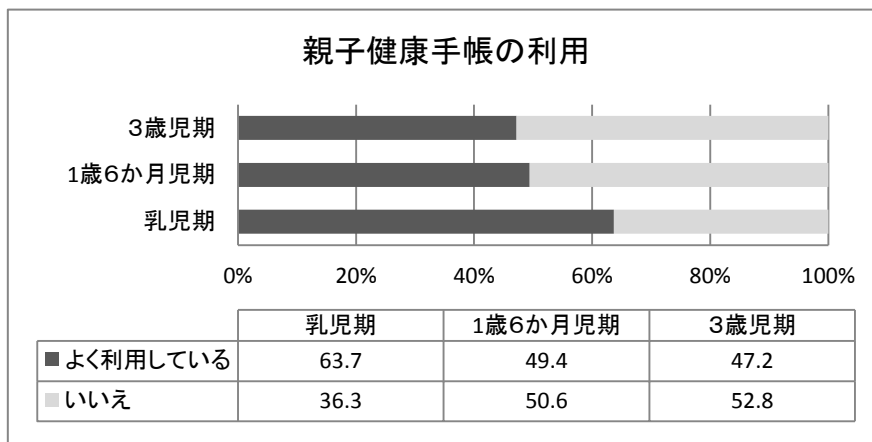
(3) 乳幼児期とかかりつけ医について

乳幼児健診時にかかりつけ医を決めているかの間診項目で、決めていると回答したのが乳児期 79.7%、1歳6か月児期 90.9%、3歳児期で 91.4%となり、月齢が高くなるにつれかかりつけ医を決めている割合が高くなっている。



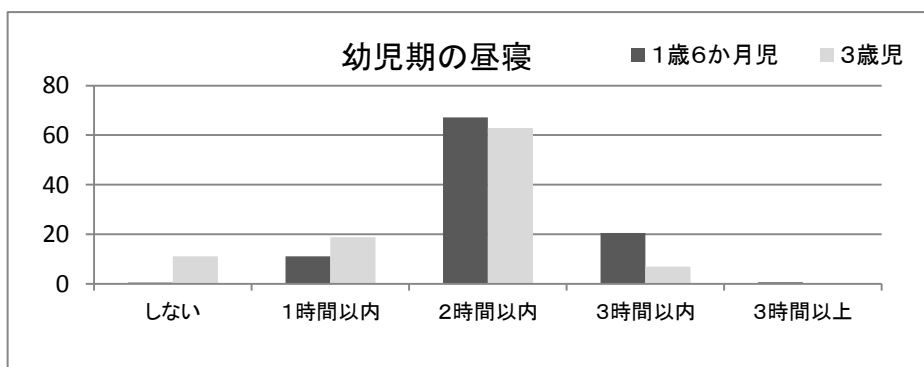
(4) 乳幼児期の親子健康手帳の利用について

乳幼児期の親子健康手帳（母子健康手帳）の利用について、乳児期は 63.7%の利用に対し、1歳6か月児期 49.4%、3歳児期 47.2%と年齢が高くなるにつれ減少している。



(4) 幼児期の昼寝について

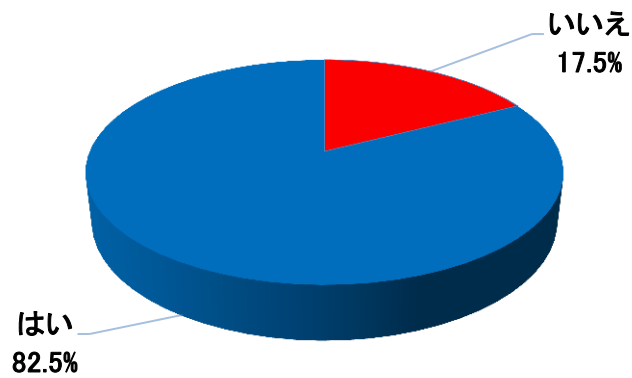
1歳6か月児と3歳児の昼寝をみると、2時間以内が 67.2%と 62.9%になっている。3歳になると昼寝をしない児も 11.1%もいることがわかる。



(5) 外食（ファーストフード）の利用について

(参照) 統計資料 No. 88

3歳児の睡眠について項目別に集計した。

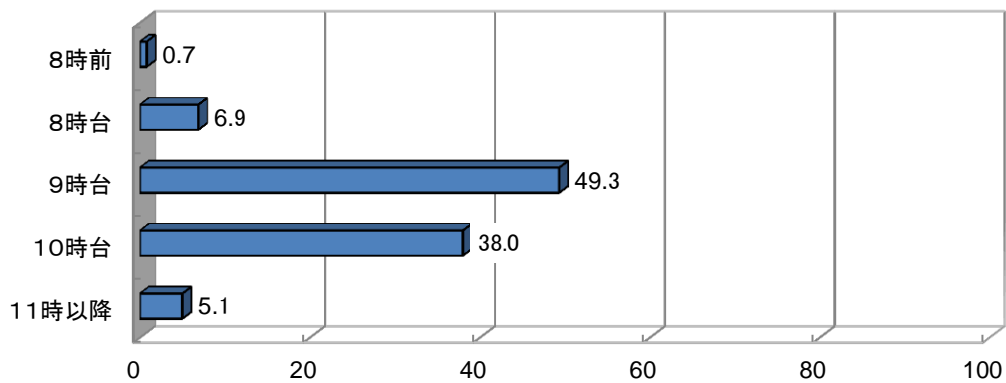


(6) 睡眠について

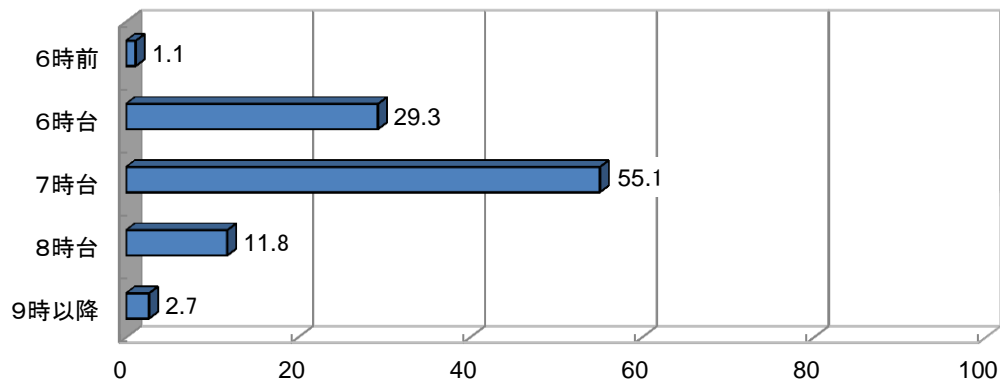
3歳児の睡眠について項目別に集計した。

(参照) 統計資料 No. 92～94

就寝時間

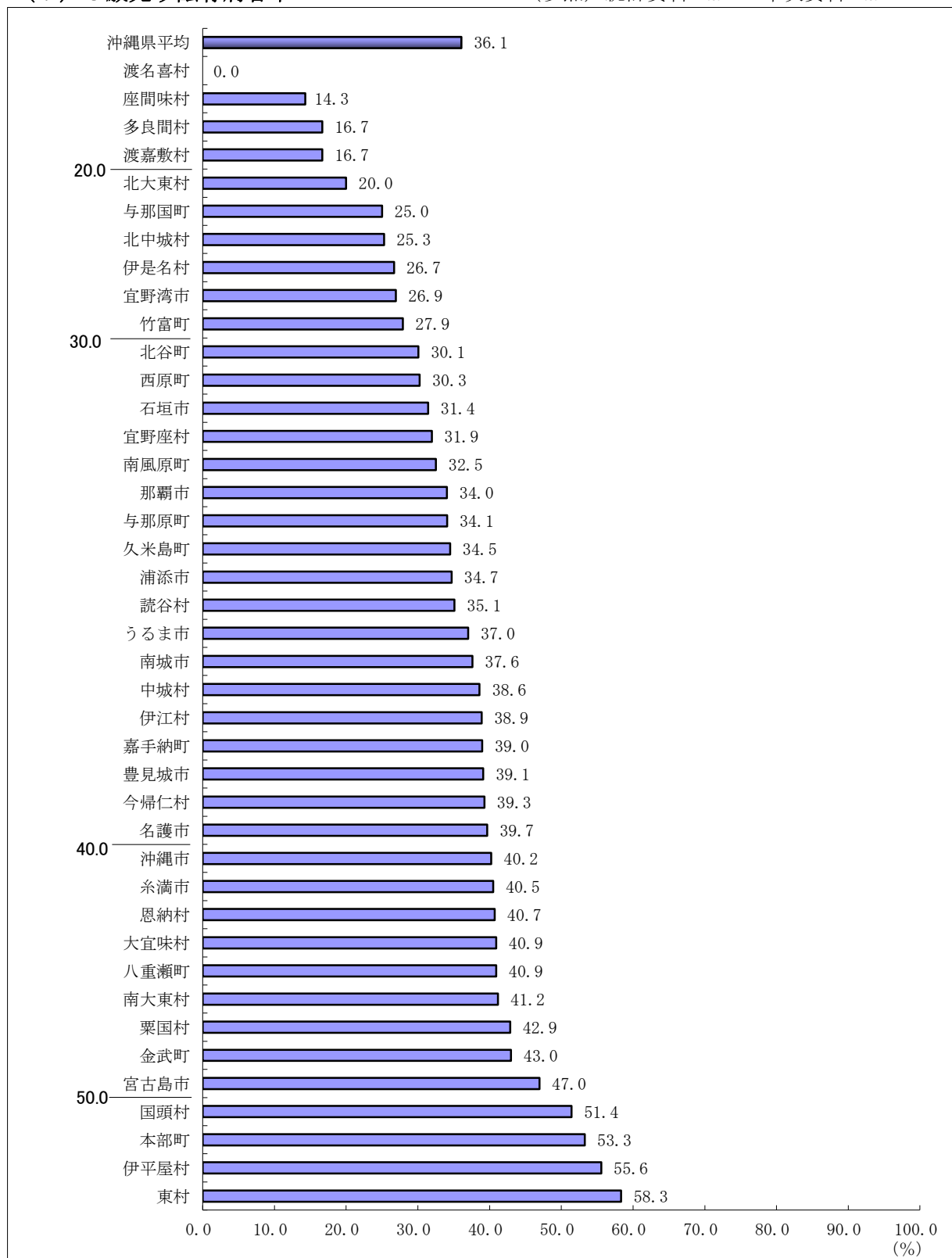


起床時間



(7) 3歳児う蝕有病者率

(参照) 統計資料 No. 70 年次資料 No. 23



おわり

平成22年度までの健康診査結果一部を紹介したが、詳細は健康診査の項目別に記載した。